

寄生バチ
の仲間

ガやチョウの幼虫(寄主と呼ぶ)の体内に産卵し、孵化した幼虫は寄主が死なないように体内で成長し、外皮を破り外に出て繭をつくる。



羽化直後の成虫

アオムシコマユバチ



寄主から出てきた幼虫

コマユバチ科 体長 3mm
モンシロチョウの幼虫の体内に数十匹で寄生。出てくると黄色い繭をつくる。



サムライコマユバチの仲間

コマユバチ科 体長 3mm
イモムシやケムシの体内に数十~数百匹で寄生。出てくると白い繭をつくる。小さな繭が固まって全体が綿で覆われているのはモモスズメサムライコマユバチ。



繭(寄主はマイマイガ)



繭(寄主はオオミズアオ)



繭(寄主はモモスズメ)



繭から出てきた成虫

スズメヤドリコマユバチ

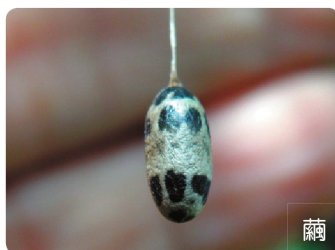


繭

コマユバチ科 体長 5mm
スズメガ科の幼虫の体内に単独で寄生し、成長すると体を食い破り、背中に繭をつくる。



ハウネンタワラチビアメバチ



繭

ヒメバチ科
体長 9 ~ 10mm
フタホシコヤガなどの幼虫に寄生し、脱出した幼虫は長く垂らした糸の先に繭をつくる。